

環境に配慮した取り組み ～岡崎市での地域性苗木植樹活動について～

中日本高速道路株式会社は、「環境・持続可能社会への貢献」として、環境に配慮した取り組みを実施しています。

■岡崎市立河合中学校と豊田工事事務所との取り組み

豊田工事事務所では、2011年に、岡崎市立河合中学校の生徒と一緒に、高速道路沿線に自生するアラカシ、サカキなど約10種類の樹木の種を採取しました。

この種を中学校と当社が2年かけて苗木まで育成し、このうち約100本を、10月18日に中学校の生徒75名と一緒に、新東名の道路のり面（岡崎市 ^{おいだいら} 生平 地区）に植樹しました。

これらの取り組みは、当社が進めている地域連携活動の一つであり、生徒の皆さんからは「建設工事が自然に配慮していることが理解できて安心した」「高速道路ののり面に自分たちが植えた苗木があることを自慢したい」との感想をいただきました。今回植樹したのり面は、高速道路とともに当社が適切に管理し成長を見守っていきます。

当社は今後も引き続き、地域連携の強化、地域社会・経済への貢献を推進していきます。

